

天満屋倉敷店 2020年7月の画廊予定

◎ 4階美術画廊

会 期	内 容
7/1(水)～7/6(月)	<p>高僧墨蹟と茶の湯掛軸展</p> <p>各宗派の管長、管主、門跡、長老、住職ら、日本を代表する高僧から地元ゆかりの名僧の墨蹟を集め一堂に展覽いたします。厳しい修行と悟りに裏付けられた力強くもあたたかい言葉は私たちの心を照らし人生の指針として心に響きます。また墨蹟は、茶の湯が盛んになるとその茶席の掛け物として最も重要な位置を占めるようになりました。今展では大徳寺や建仁寺の管長をはじめ茶道各流派の御家元の茶の湯の掛軸もあわせて展覽いたします。約50点の出品です。また、会期中は「表装無料ご相談会」を実施し、掛軸や額の表装やお修理のご相談を承ります。</p>
7/8(水)～7/13(月)	<p>油絵・ガラス絵・ミクストメディア 金森宰司作品展</p> <p>おだやかでふくよかなフォルムと明るい色彩で個性的な人物を描き、多くのファンをもつ金森宰司先生の作品展です。東京藝術大学大学院修了後、美術団体「新制作協会」の会員として全国で個展を中心に活躍中の金森先生の作品は、何気ない日常を自由な心と優しい目線で見つめ夢想の世界へといざないます。今展では、そのオリジナリティーあふれる洗練された世界を鮮やかに描いた油絵、ガラス絵、ミクストメディアあわせて約40点を出品いたします。</p>
7/15(水)～7/20(月)	<p>迫田岳臣ガラス展</p> <p>倉敷芸術科学大学でガラス工芸の技術指導員として後進の指導にあたっておられるガラス作家迫田岳臣先生の作品展です。古代ガラスの技法研究・復元にも取り組む、特に「ゴールドサンドウィッチガラス」の研究においては高い評価を得ておられます。今展では、ゴールドサンドウィッチの技法で制作された作品から普段使いの花器、酒器、食器に加え、今回は古代ガラスやとんぼ玉の蒐集家でジュエリー制作も手掛ける羽原恵子氏とコラボレーションしたアクセサリーをあわせて一堂に展覽いたします。約120点の出品です。</p>
7/22(水)～7/27(月)	<p>一色エンピツで描くファンタジーの世界— 松川耕太作品展</p> <p>独自の作風で色鉛筆画を手掛ける岩手県一関市在住の画家・松川耕太先生の作品展です。幼少の頃より絵に興味を持ち、自閉症と向き合いながら独学で絵を学び自由に伸びやかな画風を展開。ペンと色鉛筆で描いた作品は、「緻密さ」と「柔らかくで色彩豊かな色使い」が特徴です。今着実にファンを増やし個展を中心に活躍されています。見る人々を独自のファンタジックワールドに誘う作品約30点を一堂に展覽いたします。</p>
7/29(水)～8/3(月)	<p>—幽玄の美— 牛茂 仏画展</p> <p>兵庫県明石市ご在住の染色仏画作家牛茂(本名:牛田茂)先生の天満屋初個展です。染織家で友禅染めの人間国宝故森口華弘に師事し、伝統工芸の重みと多彩な描写に没頭、伝統的な染色技法のみならず自ら研究開発と研鑽を重ね独自の染色仏画技法を編み出されました。今展ではその独自の染色技法を駆使した奥深く神秘的で心洗われる如来・菩薩などの様々な仏様や、龍、天女、悠久なる心象風景などを描いた作品を一堂に展覽いたします。約30点の出品です。</p>

作成：美術画廊担当 国光

営業時間 毎日午後6時閉場

※7/7(火)・14(火)・21(火)・28(火)は閉廊日

いずれも会期最終日は、午後4時に閉場いたします。

※会期・タイトルは都合により変更することがあります。

お問合せ

天満屋倉敷店 販売計画

TEL 086-426-2205